

教員のライフステージに応じて求められる資質能力

ライフ ステージ	研修 の観点	求 め ら れ る も の						
初任者	実践の基礎・基本	基礎的・基本的な知識技能	・教育公務員としての自覚と使命感を持ち、教育活動に必要な基礎的・基本的な知識、技能及び職務遂行能力を身に付けるとともに、児童生徒を中心とした対人関係能力の向上を図る。		課題対応研修 教科指導、学級経営、生徒指導、児童生徒理解、コミュニケーション能力等の様態ごとに、個別の研修プログラムで課題解決を図る。			
若年層（2～5年）			専門的な知識技能	・自らの職能成長について自覚し、積極的に授業実践を積み重ね、教科指導や学級経営を始めとする専門的知識、技能を身に付けるとともに、保護者、学校に関係する地域住民等との対人関係能力の向上を図る。				
6～9年	実践の推進	実践的指導力の向上		・国及び本府の施策を踏まえ、ミドルリーダーとしての自覚と使命感を高めるとともに、実践的指導力と校務分掌組織の運営力量、学校組織内外との対人関係能力の向上を図る。				
10年期			実践の発展	組織運営への積極的参画		教育活動の高い実践力	・校務分掌組織のリーダーとして、自らの役割を自覚するとともに学校運営に関する専門的な知識や実践力を身に付け、組織の活性化に向けた対人関係能力の向上を図る。	
11年～19年	指導的力量の形成	教育実践についての指導力量					・授業、学級経営、生徒指導等の分野において専門的な知識や技能を身に付けるとともに、自らの見識を学校組織全体に波及させる能力の向上を図る。	
							管理・経営能力の向上	学校経営についての力量
20年～				・学校内外における役割と責任を自覚し、授業を中心とした教育実践等におけるリーダーシップを発揮するとともに、特色ある学校づくりに取り組む。 ・教職員の資質能力の伸長への支援をするとともに、教育活動全般にわたって実践的指導力を発揮し、学校組織の活性化を図る。				